



9月ゆうゆう通信

令和6年度 八百津町子育て支援センター

赤とんぼが飛び始め、吹く風が涼しく感じる日もあります。日中はまだ汗ばむこともあり、お子さんの体調には、気をつけていきたいですね。ゆうゆう広場では、楽しかったプールあそびが終わり、支援室内も秋の雰囲気模様替えです。体を元気に動かして遊べるような遊具やリズム体操を準備しています。遊びに来てくださいね！



9月の予定

新しい絵本が入りました。
貸し出しができます。
職員にお声掛けください。

月	火	水	木	金
2 	3 	4 	5	6
9 乳幼児相談 ママカフェ 	10 乳幼児学級 子育て講話	11 	12 	13 
16 敬老の日	17	18 わくわくタイム 10時30分より	19 	20 
23 振替休日	24 おべんとうバス 	25 	26	27
30 乳幼児学級 リトミック 	受付に乳幼児学級やゆうゆう広場での行事などのお知らせが掲示してあります。 来所の際はご覧ください。 			

おべんとうバスで
あそぼう！

24日(火)～27日(金)

この期間に遊べます
お楽しみに！



わくわくタイム

18日(水) 午前10時30分～

「運動会ごっこ」

玉入れやかっこなど小さなお子さん
から楽しめる内容を予定しています。



乳幼児相談（親子教室）

9月9日(月)

午前10時～11時

保健師・栄養士が
対応します。

ママカフェ（親子教室）

9月9日(月)

午前10時～11時30分

飲み物を飲みながらお話ししましょう。
1人100円で利用できます。

9月のお知らせ

乳幼児学級

10日(火)午前10時

「子どもたちに
つけてあげたい力」(仮)
教育委員会 日比野先生
場所：学童室

乳幼児学級

30日(月)午前10時～

「リトミック」

場所：学童室

受付：9時50分～

八百津町子育てパンフレット
を持参下さい。ない方は職員
にお声がけください。

申し込みは教育委員会
社会教育係まで
43-0390(内線 2518)
ゆうゆう広場でも受付
できます。



ご利用の皆様感染症等に関する注意喚起や
健康状態の調査などで、連絡先をお聞きし、
ゆうゆうからお電話をさせていただくことがあります。
ご了承ください。

☎0574-48-8344 (この番号が出ます)

施設利用について

《開所日》 月～金曜日(土・日・祝日はお休み)

《時間》 午前 9時～正午

午後 1時～5時(4時45分お片付け)

＊枠以外の時間で消毒・換気・環境整備を行います。

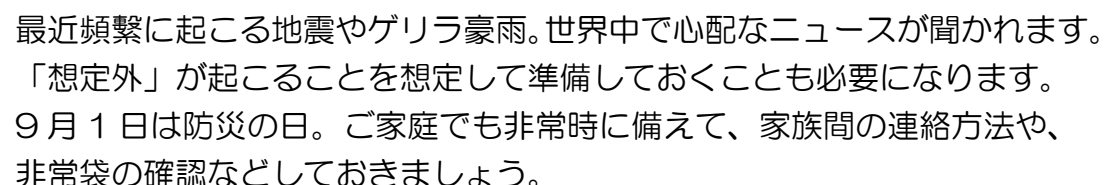
町外の方も利用できます。お友だちを誘って遊びに来てね。

《お願い・お知らせ》

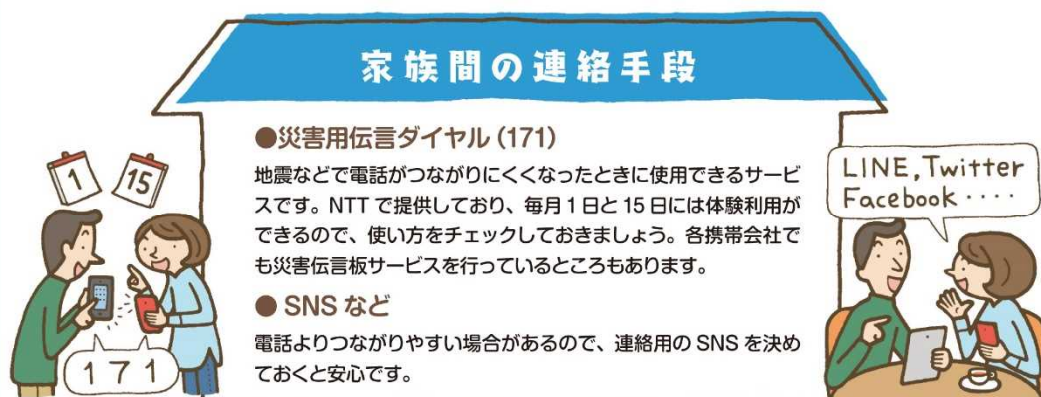
- ・来所時に住所の記入をお願いします。
- ・微熱・下痢・嘔吐などの症状があった時は、来所をお控えください。
- ・昼食・おやつタイムは行っておりません。水分補給は各自で必要な時に
行ってください。

〇お問い合わせ (0574) 43-2111 (内線 2582)

裏もご覧ください



家族間の連絡手段



災害時、その地域内にいる家族同士で連絡がとれなくても、遠隔地となつながら場合があります。遠くに住む親せきや友人の連絡先を家族で共有して、相手には非常時にメッセージを託せるよう、お願いしておくとう安心です。

内閣府が、妊娠中の女性や乳幼児がいる家庭での災害の備えや防災が起きた時の行動のポイントを記したものをPDFで公表しています。

<https://doc.giftfor.life/giftfor-notice.pdf>



非常持ち出し袋をチェック！

災害に備えて非常持ち出し袋を買って、そのままになっていませんか？
市販のものは大人用のものなので、お子さんの年齢に合わせて必要なものを補充しておきましょう。
まずは、1泊2日の旅行の用意をするつもりで考えると、そろえやすいかもしれません。

子ども用の持ち出し用品を
準備しておこう

乳幼児用の非常持ち出し袋に
入れておきたいもの

おむつ おむつを卒業していても、慣れない環境で
おむつが必要になる場合も。

おしりふき

液体ミルクやレトルトの離乳食・哺乳瓶
数日分あればベスト。

着替え 少し大きめのものを入れておき、定期的に
入れ替えるとムダになりません。

おもちゃ 緊張を和らげてくれます。

ミネラルウォーター 500mlを2～3本。

おむつやおしりふき、授乳用のケープなどをまとめた「外出用のバッグ」を常時置いておけば、非常時にそのまま使える持ち出し袋になります。



持ってみよう

災害時にはベビーカーは使えない場合がほとんど。避難するときは赤ちゃんを抱っこひもで、小さな子どもは手をつないで連れていくことになるので、その状態で非常持ち出し袋を持ってみましょう。安心のためにあれこれ入れても、重くて持てなくては意味がありません。無理なく移動できるよう調整しましょう。

実際に使ってみよう

非常時に備えて液体ミルクやレトルトの離乳食などを準備していても、食べたことがないと、いざというときに子どもが食べてくれないことがあります。普段から食べさせ、味に慣れておくと安心です。

備蓄品にも、賞味期限があります。大人用の備蓄品もチェックして、期限に近づいたものは食べてみましょう。好みの味や使いやすいものが見つかればベストです。